

西彼保健所感染症情報

令和8年 第 13 週 令和8年3月23日 ~ 令和8年3月29日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	報告なし

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加↑↑;2週連続増加↑↑↑;急増

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
	12週	13週	警報レベル		注意 レベル		12週	13週	警報レベル		注意 レベル
			開始	終息					開始	終息	
インフルエンザ	15.0 注意報	4.4	30	10	10	突発性発しん	0.00	0.00	/	/	/
COVID-19	0.00	0.80 ↑	/	/	/	ヘルパンギーナ	0.00	0.00	6	2	/
急性呼吸器感染症 (ARI)	72.6	75.8 ↑	/	/	/	流行性耳下腺炎	0.33 ↑	0.00	6	2	3
RSウイルス感染症	1.00	3.33 ↑	/	/	/	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	/
咽頭結膜熱	1.33 ↑↑	1.67 ↑↑	3	1	/	流行性角結膜炎	0.00	0.00	8	4	/
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.00 警報	4.00 警報	8	4	/	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	/	/	/
感染性胃腸炎	8.00	8.00	20	12	/	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	/	/	/
水痘	0.33	0.00	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	1.00 ↑	0.00	/	/	/
手足口病	0.67 ↑	0.00	5	2	/	クラミジア肺炎	0.00	0.00	/	/	/
伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.00	0.00	2	1	/	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.00	0.00	/	/	/

トピックス・季節情報

急性呼吸器感染症(RSウイルス感染症・咽頭結膜熱)に注意しましょう



RSウイルス感染症と咽頭結膜熱が増加傾向にあります。

感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染が主なものです。特に、家族内では、RSウイルスが伝播しやすいので、家族内にハイリスク者(乳幼児や慢性呼吸器疾患等の基礎疾患を有する高齢者)が居る場合は、罹患により重症となる可能性があるため、適切な感染予防策を講じることが重要です。飛沫感染対策としてのマスク着用や咳エチケット、接触感染対策としての手指衛生といった基本的な対策を徹底してください。

麻しん(はしか)の注意喚起

※令和8年3月27日に、長崎市保健所に麻しん(はしか)の発生届出がありました。

麻しんとは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。

【症状】

感染後、10~12日の潜伏期の後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

【医療機関受診】

麻しんの感染力は非常に強く空気感染するため、症状がある場合は、事前に医療機関へ電話で、はしかの疑いがあることを説明のうえ受診してください。また、受診の際はマスクを着用し、公共交通機関は控えてください。

【予防方法】

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しんの予防接種が最も有効な予防法といえます。定期接種の対象者だけでなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合は予防接種を検討してください。

【医療機関における留意点】

- ①発熱、発疹、咳、鼻汁、結膜充血等を呈する患者に対する麻しん鑑別診断の徹底
- ②麻しんが疑われる症例を診察する際の標準予防策および空気感染予防策の実施
- ③確定例および疑い例について速やかな保健所への届出
- ④医療従事者自身の麻しん免疫(2回接種歴または抗体保有)の確認
- ⑤届出に必要な条件を満たしていない症例であっても、国内外の流行地への渡航・移動歴がある場合など、麻しんの疑いを排除できない場合には管轄の保健所まで相談

